

雲の上のまち



広報

ゆたばら



広野の竹田邸 春爛漫

令和4年度 一般会計予算 <P2>

令和4年度 施政方針 <P3~>

栲原町の組織機構及び職員配置表<P12>

春の人事異動(教職員)<P15>

栲原町消防団 日本消防協会より特別表彰<P15>

越知面遊友館 五右衛門風呂完成<P26>

etc...

4 月号
2022
<令和4年>
No.766

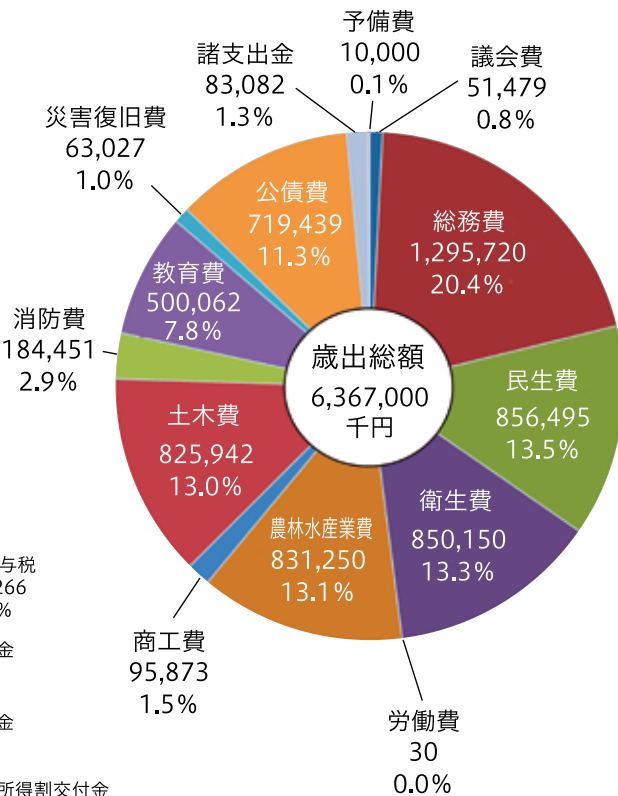
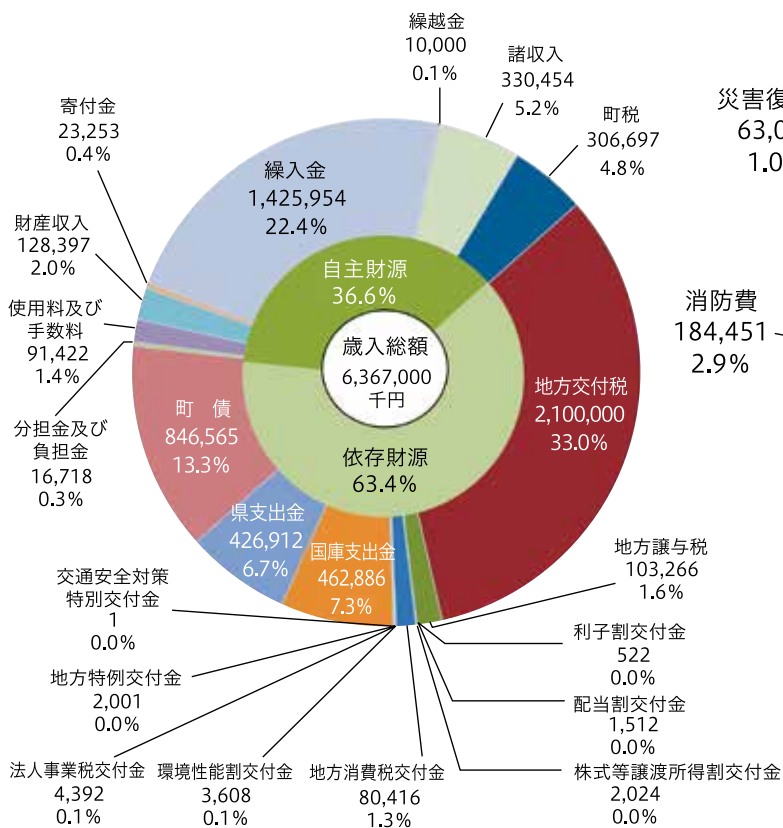
●世帯数/1,743 (2月末)
1,735 (3月末)
●人口/3,318 (2月末)
3,285 (3月末)
○出生… 1 ○死亡… 5
○転入等… 20 ○転出等… 49

令和4年度 一般会計予算 63億6,700万円

梶原町 一般会計当初予算の状況

歳入の状況

歳出の状況



令和4年度 一世帯当たり、一人当たりの予算状況 世帯数1,513世帯、人口3,307人(令和2年国勢調査)

会計名	予算額(千円)	一世帯当たり予算額(円)	一人当たり予算額(円)
一般会計	6,367,000	4,208,196	1,925,310
松原診療所特別会計	19,500	12,888	5,897
四万川診療所特別会計	13,300	8,790	4,022
国民健康保険特別会計	554,000	366,160	167,523
後期高齢者医療特別会計	73,400	48,513	22,195
介護保険事業特別会計	583,000	385,327	176,293
簡易水道事業特別会計	136,100	89,954	41,155
農業集落排水事業特別会計	27,100	17,911	8,195
下水道事業特別会計	75,900	50,165	22,951
風ぐるま事業特別会計	1,192,000	787,839	360,448
病院事業会計	676,298	446,992	204,505
計	9,717,598	6,422,735	2,938,494

令和4年度施政方針



第362回
 梶原町3月定
 例議会が開催
 され、吉田町
 長が令和4年

度に臨み、次のように施政方針を述べました。

**みんなが生きがいと幸せを感じられる町を目指して
 梶原を未来へ！**

私は、「町民の皆さんがそれぞれの生きがいや幸福感を感じながら安心して安全に暮らせる町づくりを進めていきたいと思っています。町長として再選いただき、この約束を実現するために、「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷・梶原へ」を推進し、豊かな自然を守りながら、経済を再生し、心豊かな町民生活を営めるよう各種事業を展開し取り組んでいると

ころです。

こうした取り組みの基本となるのが、第7次梶原町総合振興計画及び、第2期梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の地域ビジョンでありまして、少子化や高齢化などの人口問題に起因する諸課題や脆弱な産業構造、森林資源の有効活用や教育の振興など、財政面の均衡を図りながら課題解決に向けて取り組んでいく必要があると考えています。

「世界の課題解決先進地域」として経済を再生し、自然とともにある豊かな町民生活を実現することにより、町民の皆さんが自信と誇りを持ち、幸せな笑顔にあふれ、訪れた人にも「来て良かった」「何度でも来たい」「ここで住みたい」と思っていただけける町づくりに取り組んでいきます。

ゆすはらの将来を見据えた 取り組み

近年、私たちを取り巻く社会環境は目まぐるしく変化し、これまでの常識や行動が急速に見直されています。

これに拍車をかけているのが、新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式への転換であり、Web会議や、リモートワーク、ワーケーションが当たり前の日常になってきました。こうした社会の変化に対応し、子や孫の世代に幸せな暮らしをつなげる町づくりを進めるため、課題の掘り起こしから解決に向けての取り組みを考えていかなければなりません。

また、町民の皆さんが、安心して安全に暮らしていただける生活環境の整備はもとより住民福祉の向上につながる、持続可能な町づくりを行うため、これまでの取り組みを継続しながら、令和4年度は産業と教育の振興に力を入れ

ていきます。

その中でも喫緊の課題として進めているのが、太郎川公園の再生事業で、資材単価の高騰を踏まえハード整備の見直しを早々に行います。産業の振興に向けての大事な拠点でもあることから、本町の特性を生かした農産物や特産品等の生産、加工の拡大と、集出荷の仕組みづくりを生産者の皆さんや集落活動センターとともに構築していくなど、引き続き積極的に進めていきます。

また、今の梶原を次へつないでいくためには、次世代を担う子どもたちの育成が肝要であり、これまでも、保幼小中高の18年間を通しての教育を進め、「つなげて」「つづけて」「つよくする」なかで、自己肯定感を高めるとともに学ぶ力を育みながら、基礎学力の向上を目指し、地元高校から進学や就職につなげていくための条件整備に取り組んできました。令和4年度は、こうした取り組みを更に充実させるため、一貫教育支援セン

ターの充実を図り、基礎基本の徹底と人生100年時代をたくましく生き抜ける力の育成につなげる教育の振興を図っていきます。

本町では、これまでも様々なことに取り組んでいましたが、現在の取り組みも含め、一見、異なった分野の取り組みに見えることもすべてがつながりを持っており、それらを総合的に生かし関連づけながら子や孫の世代、子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷・橿原を築けるものと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、その実現に向けまして、令和4年度に取り組んでいこうとする内容につきまして、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載しています6つの目指す社会ごとに申し上げます。



【橿原ならではの保健・医療・福祉・

介護が充実した社会】

健康

少子高齢化がますます進行していく中で、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、山積する課題を一つひとつ解決していかなければなりません。

そのためには、行政だけでなく、町民の皆さんとの対話を通して信頼関係を築きながら、課題を共有し共に解決に向けて取り組んで行く共働が重要となります。時間と手間はかかりますが、橿原ならではの切れ目のない支援が継続していけるよう、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、何事も前向きに考え、「町民の皆さんがそれぞれの生きがいと幸福感を感じ、笑顔あふれる町づくり」を目指していきます。

○地域福祉の充実

これまで、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、町民の皆さんのご協力をい

ただきながら地域福祉の充実に取り組んできました。

令和4年度は、包括的かつ総合的な地域福祉サービスの提供に向けての「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定する年となっています。現在の計画を着実に進めながら、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、すべての人々が尊厳を持ち、それぞれの生きがいや幸福感を感じながら生活できる環境づくりを進めるため、町民の皆さんのニーズを活かした計画づくりに取り組めます。

○地域医療体制の充実

町民の命を守るために、令和4年度は4名の常勤の医師を確保することができ、小児科医を含めて橿原病院を中心に、松原・四万川両診療所、橿原歯科診療所及び榑原町社会福祉協議会、さらに6つの集落活動センターとの連携により治療活動の充実と予防活動に積極的に取り組んでいきます。

また、橿原歯科診療所の建替え

については、当初目指しておりました、令和5年度からの新しい歯科診療所での診療は、1年程度遅れる見込みとなりました。皆様にはご不便をおかけしますが、仮設の歯科診療所を設置し、休診期間をできるだけ短くできるように取り組んでまいります。

○高齢者福祉の充実

本町の高齢化率は46・7%（令和3年12月末）となっております。今後、高齢化率が急激に上昇することはありませんが、一方で若い世代の人口が少なくなり、マンパワーの不足が大きな課題となっております。これまでと同様の介護等のサービス提供が困難となる状況も予想されるところです。

このような状況ではあります。公的サービスの基盤を守るために人材の確保に努めるとともに、健康長寿を目指す意識づくりに取り組み、町民同士の支え合いを活かし、限られたサービスが真に必要な方に行き届くよう、町民

の皆様のご理解ご協力をいただけるような仕組みづくりに取り組んでいきます。

○健康づくり

本町では、健診は受けるべきものとして町民の皆さんに定着しています。これは、町民の皆さんに長年取り組んでいただいている健康推進制度の成果です。健診を受けることで早期発見・早期治療につながっており、本町の後期高齢者医療の一人当たり医療費は、県平均額よりも低く推移しています。

しかし、国保の一人当たり医療費は依然として上昇傾向にあります。高額療養費につながる疾病には生活習慣病が関係している場合も多いことから、医療費の抑制を図るには生活習慣の改善を行い、重症化予防に取り組む必要があります。現在、取り組んでおりますヘルスアップ事業を進め、運動と食事の習慣を改善し、筋力アップを図りへモグロビンA1cの値を

低くしていく取り組みを行います。また、健康文化の里づくり推進員やエプロン会の皆さんにもご協力をいただきながら、子どもころからの食生活の改善を図り、その親の世代も巻き込みながら、若い頃から健康な身体づくりを意識してもらい、健やかな生活を営んでもらえるような地域を目指します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組みとして、引き続き感染予防対策の徹底を図るとともに、スムーズなワクチン接種を行い、新型コロナウイルスの脅威から町民の皆さんを守ります。

○「命の道」の整備促進

私たちがこの町で安心して安全に暮らすために、道路は極めて重要な社会基盤の1つです。この町と町民の安全、安心な暮らしを守るため、「命の道」の整備に全力をあげて取り組んできました。

その成果として、高知市、松山

市へも1時間半の時間距離となり、様々な恩恵を受けられるようになっていきます。昨年末には、新野越バイパスが完成し、冬季の安全な通行とトンネル内での大型車のすれ違いが可能となることにより、より大きな安心感を得ることができました。

また、この4月には、町道佐渡鷹取線が供用開始となり、松原方面へのアクセスが飛躍的に向上します。今後においても、鷹取から中平区間の早期完成に向けて積極的に取り組んでいきます。また、主要地方道城川橋原線宮野々工区や、中平橋原線豊原工区及び県道上郷橋原線下本村工区におきましては、現在、着手している区間の整備促進を図りながら、未着手区間につきましても、新たな工区設定をいただきながら、切れ目のない整備効果が図られるよう、積極的な要望活動に努めてまいります。

さらに、生活道である町道等につきましても、引き続き新規路線

開設や改良等、継続的な整備を進めていきます。

○生活交通手段の確保

道路網整備と並行して取り組まなければならないのが、公共交通の不便な地域における生活交通手段の確保でございます。特に本町は、幹線道路から距離のある集落が多く、交通弱者といわれる高齢者等の移動手段に課題があり、利便性の向上を図ることが求められてきました。

このような状況を改善していくため、高齢者の方などを中心に地



コミュニティバスへ乗車中

域の声を聴き、地域公共交通会議での検討を経て、昨年10月から実証運行を行っています。

令和4年度は10月から実施する予定の本格運行に向けて、地域の皆さんとともに、自分たちに合った、自分たちのための、気軽に利用できる生活交通サービスについて、地域の皆さんや、交通事業者と協働で仕組みをつくり、持続可能な交通体系を構築してまいります。

**【自信あふれる梶原人を育てる
教育の確立した社会】
教育**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、突然の全国一斉休校が要請されて以来2年間、こども園や学校現場では、毎日の検温や消毒作業、さらには、長引くコロナ対応の中で、誰もが経験したことのない事態に細心の注意を払いながら、子どもたちの安全と心のケアを第一に対応してきました。

子どもたちの成長の機会でもあ

る運動会や、修学旅行などの様々な行事も縮小や中止を余儀なくされましたが、心の喪失感への手当として、新しい形での体験の機会をつくるなど、学校現場の教職員を中心に創意工夫をしながら取り組んでいただいております。今後におきましても、子どもたちが心身ともに健康で充実した生活が送れるよう、最善を尽くしてまいります。

○保幼小中高の一貫教育の推進

少子高齢化の進展やグローバル化の加速など、大きく変化していく時代において、これからの子どもたちには、自ら課題を見つけ、他者と協働しながら、たくましく生き抜く力を身に付けて欲しいと考えています。学力の定着はもちろんのことですが、そのためには、子どもたちの自己肯定感を高める取り組みが必要であり、子どもたち一人ひとりの強みや特徴を大切に、こども園・学園・高校へとつないでいくため、一貫教育支援

センターの機能をより強化してまいります。

また、本町の最高学府である梶原高校においては、梶原学園からの進学率の高い水準で推移していますが、入学者数は、2年続けて2クラスを維持する基準である41名を若干下回っているのが現状です。

こうした状況の中、更なる梶原高校の魅力化に向けて、学校・地域・行政が一体となった取り組みを推進していくために、中高連携地域魅力化コーディネーターを配置し、これまで以上に強力な支援を行います。

このように、保幼小中高の18年間をおとした教育により、子どもたちが描いた夢を応援できる仕組みと体制の強化を図りながら、自信あふれる梶原人の育成に取り組んでいきます。

○生涯学習の推進

コロナ禍の中で、家で過ごす時間も多くなり、これまで読書の習

慣がなかった方も、本を手取る機会が増えているのではないかと考えます。感染予防のため自粛生活をされている町民の皆さんに、少しでも充実した時間を過ごしていただけるよう、町内各地への雲の上の図書館の出張所の設置や、広報活動を拡大するなど、図書館機能の充実を図ってまいります。また、人と人をつなぐ交流の場としても、図書館の有効活用に取り組んでいきます。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、世界中から集まったアスリートの皆さんがス



聖火リレー サポートランナーの皆さん
(東京 2020 オリンピック)



旧掛橋和泉邸 葺替え

ポーツを通じて、私たちに沢山の夢と感動を与えてくれました。この経験を次へとつなげていくために、パラスポーツ体験の機会を設けるなど、スポーツ活動の推進に取り組んでいきます。

○文化財等の保存伝承

本町には、藤原経高公の入植以来1100年の長きにわたり、この津野山郷で育まれてきた伝統文化が守り継がれてきました。これまでも地域住民の皆様により守られてきた様々な文化財を確実に継承していくため、地域が実施する

文化財の保存事業に対して、これまで以上の積極的な補助支援を行い、日常において、活用できる文化財として管理いただきながら、地域の文化財に対する意識の醸成を図り、次の世代に継承していきます。

【次世代へより良い環境を引継ぐ社会】環境

○豊かで持続可能な森林づくり

「森林の価値の再構築」を掲げ、梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」を設立し、持続可能な森林づくりに向けて、林業の活性化、林業技術者の確保・育成に取り組んでいます。現在4名の地域おこし協力隊員が研修を重ねており、令和4年度中にも新たに2名の隊員が活動をスタートさせる予定です。

また、企業からICT技術者を派遣いただき、ドローン技術の活用やレーザーデータをもとに森林情報の解析を進めており、新たな技術で森林づくりを実施していま

す。世界を挙げての二酸化炭素削減への取り組みなどの流れの中、「梶原町の森林の整備に貢献したい」とお話をいただく県内外の企業も増えており、様々なご意見を反映させながら多種多様な持続性のある森林づくりに向けて取り組んでいきます。林業が暮らしを支える生業として成り立つよう、市場に左右されない価値のある木材づくりを目指していくためにも、本町が取り組んでいる森林づくりを推進していきます。

○梶原森林づくり大学構想

町内の若手林業関係者が伐採技術を学び合う研究会「COMORI」を設立し、ゆすはら産業担い手育成塾の卒業生が中心となり、住宅裏の危険木の伐採を行うなど、林業の技術を生かした地域貢献活動に取り組んでいます。

また、ReMORIによります伐倒技術の研修に加え、造林、特殊伐採の技術、ICT等による森林づくりの活動を、学び合い高め

合うことができる仕組みの「梶原森林づくり大学構想」をスタートさせました。昨年の4月には、「令和の森林づくり事業」として永野地区にある長石町直営林において、地域や企業の皆さんにご参加いただき、広葉樹の植林を実施しました。会場となりました植林地の地拵えには、協力隊や企業の皆さんにも汗を流していただきました。まだまだ、小さな一歩ではありますが、こうした取り組みを着実に積み重ねていくことにより、地域の林業関係者や地域おこし協力隊に加え、大学等の研究機関、



ツリークライミング®体験

町外の先進事業者や環境先進企業
の皆さんとつながり、森林づくり
について、共に考え、学び、実践
していくことで、「技術者の育成」
「人材・技術の継承」に結びつい
ていくものと確信し、先人から託
された豊かな森林を、人づくりの
ための交流の場として、子や孫の
世代に託せるよう取り組んでいき
ます。

○環境モデル都市の取り組みの推進

本町には、先人から引き継いで
きた美しい自然環境があります。
これは、環境意識の高い町民の皆
さんによって保たれてきたもので
あり、次の世代に変わらぬ形で引
き継いでいかなければなりません。
そのために、森林整備と森林
資源の循環利用を促進します。一
方私たちの暮らしは大量生産、大
量消費等、生活する中で多くのゴ
ミを生み出しており、その処分は
自分ではできない状況となってい
ます。こうした状況の下で、これ
までの環境を守るためにも、「梶

原町廃棄物減量等推進員」の方々
を中心としたごみの分別・減量化
さらに、四万十川流域の清流を
保全するための合併浄化槽設置補
助等、これまでの取り組みを推進
していきます。

また、木質バイオマス発電や、
地域循環の仕組みづくりの一環と
して地域新電力の取り組みの検
討、四国カルストに設置している
風車の更新を行うなど、脱炭素社
会を目指し、2050年に電力の
再生可能エネルギー自給率10
0%の実現、並びに、二酸化炭素
排出量実質ゼロに向けて取り組ん
でいきます。

○災害を未然に防ぐ整備促進

異常気象に伴う集中豪雨や台風
の襲来、今年1月に日向灘で発生
した大地震など、日本各地におい
て甚大な被害が頻繁に発生してい
ます。被害にあわれた皆様に心か
らお見舞い申し上げますとともに、
早期の復興をお祈り申し上げます。

こうした災害を未然に防ぐため
に、梶原町国土強靱化地域計画に
基づき、道路修繕や法面对策を実
施するとともに、住家裏のがけ崩
れ対策や木造住宅の耐震化、危険
木の除去などを行い、町民の皆さ
んの安心・安全な生活の確保を
図っていきます。

「魅力ある生業の創出と地域を支える
産業が発展した社会」
産業

新型コロナウイルス感染症の影
響は私たちの暮らしや産業など全
ての分野に大きな打撃を与えてお
り本町においても例外ではありま
せん。令和4年度においてもその
影響は収まることなく長期化する
ことが心配されます。このような
状況を乗り越えていくためにも、
これまで以上に、農協、商工会、
森林組合をはじめ、各種企業や団
体の皆さんと連携を強めながら、
アフターコロナの世界を見据え、
農林水産業・商工業・観光の振興
を図っていかねばなりません。

このようなことから、今後にお
いては、梶原の特性を生かした一
次産業の振興や、太郎川公園の再
生による観光産業の振興が必要不
可欠であり、一丸となって本町の
経済を再生・拡大させていくよう
取り組んでいきます。

○持続可能な一次産業の振興

少子高齢化の影響により、一次
産業の生産力は低下傾向にありま
すが、農業を受け継ぐ後継者のU
ターンなどの事例も生まれてきて
います。やる気のある農家の規模
拡大や、新規参入者に対しては、
JA高知県と連携するとともに、
町独自の事業である遊休ハウスの
再利用や、簡易雨除けハウスの整
備について補助を行い支援してい
きます。

また、県や町、福祉関係組織と
連携しながら、農福連携への課題
の洗い出しや理解を広めるため
に、担当課の垣根を越えて研究、
協議を行っていきます。
さらに、民間企業との協働によ

るワイン事業につきましては、「教育及び人材育成」「原料ブドウの栽培」「梶原町の食材を活かした商品企画等の実現」に向け、それぞれの資源を有効活用することにより、地域の発展、及び、人材の育成に寄与することを目的に、先月、井上ワイナリー株式会社、井上石灰工業株式会社、梶原高校、梶原町の4者で「ワイン造りに関する包括的連携協定」を締結しました。ブドウ栽培に係る技術や商品開発、販売のノウハウ等の習得はもちろんですが、高校生の学びの場としても有効に活用していきます。また、主にワイン関連の業務を担う地域おこし協力隊員も着任しました。令和4年度には初めてのワインが生まれます。梶原の新たな特産品やお土産としての可能性についても検討していきます。

畜産については、一般社団法人津野山畜産公社の中山間農業複合経営拠点化を行っており、津野山地域の畜産業の支えとなる組織と

して、高岡郡高原畜産センターでの牛市場の運営受託や、農家への牛糞堆肥の供給なども手掛けております。また、肥育牛の「カルスト牛」としてのブランド化や民間企業と連携した販売促進を行い、梶原の和牛の知名度の向上を行うことで、公社の経営安定化を目指していきます。

林業については、戦後植えられた拡大造林は一齐に50年の伐期を迎えております。コロナ禍におけるウッドショックとして一時高騰のち高目安定となつていますが、木材価格の低迷と担い手不足により山林の手入れが進みづらいう状況です。

令和元年度に実施した森林づくりアンケート調査結果からも、「森林の手入れをしてほしい」「担い手を増やしてほしい」などのご意見があり、森林整備の必要性を強く感じているところです。また、森林は本町の産業の基盤として、私たちの生活に深く関連しています。しかし、その一方では、森林

の所有に「目的がない」という回答も多くあり、持続可能な森林づくりを実現していくためには、森林を身近に感じることでできる取り組みと原木の出口戦略が必要であり、並行して取り組んでいきます。

○商工観光産業の振興

令和2年度から進めておりました、雲の上のホテル・レストラン、道の駅の改築工事につきまして、事業の実施に対して住民の皆さんの不安が高まったことから、その規模や事業費について、再検討をするために、昨年の9月定例会でいったん立ち止まることを表明し検討を重ねていましたが、今年1月に新施設の設計を委託している隈研吾建築都市設計事務所から、資材高騰の影響により、建築費用が当初の1・5倍程度増額になる旨の説明がありました。

当事業は、本町の東の玄関口である太郎川公園の再生を中心として、町の魅力を生かした観光産業の創出による「経済の再生・拡大」

に向けて取り組んでいるものではありますが、この事業費では財源確保が厳しいこと、また、単純に予算規模を縮小しても建物の本来の魅力が損なわれ、自信と誇りの持てる施設にならないことなどにより、事業内容を全面的に見直しさせていただくことで進めていきます。その内容等については、これまでいただいたご意見も踏まえ、議会、関係機関等と調整・協議しながら進めさせていただきたいと考えておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



松原区 八百とどろの清流

【助け合い支え合いながら

暮らす社会】

くらし

○ 地域社会の持続に向けた
集落活動センターの新たな取り組み

本町は、早い時期から人口減少問題に取り組み、行政と住民、各種関係団体と連携し、地域の維持発展に努めていきましたが、人口減少は今後においても進んでいくことが予想されており地域の維持が困難になる集落も生まれるものと思われまます。

こうした状況の中、安心して住み慣れた地域で暮らしていける仕組みとして、集落活動センターを各地区に設置し、地域の特色を生かした事業を展開していくことで、地域が持続していく取り組みを進めてきました。令和4年度は、その地域の特色をさらに生かしていけるよう、地場産業の再興を目指す新たな取り組みを支援していきます。

特に、アメゴとキジの生産加工は、ともに生産者が1人だけとな

り存続が危ぶまれる事態になっておりましたが、それぞれ地元が集落活動センターに引き継がれることになったことから、町として施設整備に関しての支援を行っていきます。

昭和40年頃から始まったアメゴの養殖事業は、経営者の高齢化により廃業を検討していました。この事業は清流の流れる山村の強みを生かした地場産業であり、古くから親しまれてきたアメゴは貴重な水産資源でもあるため、この状況を知った集落活動センターおちめんが、事業の存続を模索した結果、担い手の確保と事業継承の目的がたつたことから、引き継いでいただくことになりました。今後は、担い手の育成、及び、養殖環境整備と供給体制の支援を順に実施していきます。

また、30年以上の歴史を持つ梶原町雉生産組合は、農林業者等の副業として始まったもので、最盛期には十数人が約4千羽を飼育し、年間2千万円ほどの売上があ

りましたが、生産者の高齢化が進み組合員は組合長だけとなってしまいました。当組合の食肉加工施設も老朽化していることから、更新の目途が立たず、集落活動センター四万川に相談し検討いただいたところ、株式会社四万川で事業を継承いただくことになりました。今後、キジの生産、加工に係る技術やノウハウ等を引継ぎ、キジ肉の加工販売を実施していくにあたり、生産・加工施設整備の支援を実施していきます。

その他、集落活動センターはつせで取り組んでいるキムチ等の製造販売については、高知市の大手スーパーに卸販売ができるまで成長し、「鷹取キムチ」は根強い人気商品となっておりますが、HACCPに沿った衛生管理の実践が求められていることから、調理設備の改修整備に対して支援していきます。

また、集落活動センターまつばらでは、「あいの里」で取り扱っているお弁当やお惣菜を活用し、

移動困難な高齢者宅へ配食サービスによる見守りや生活支援の実施、その他、地域物産の搬送を行っているますが、現在は個人の自家用車を使用しており負担が生じていることから軽ワゴン車の購入を支援します。

このように、集落活動センターの活動も年数を重ねるにつれ、地域住民が主体となり、それぞれの地域が支え合い、助け合いながら持続可能な地域社会に向けて、新たな事業に取り組んでいただいております。行政側も同じ目的に向けて、的確な支援に取り組んでいきます。

○ 地域防災意識の向上

災害を免れることはできませんが、被害を最小限におさえることはできるはずであり、そのためにも地域防災意識の向上を図っていきます。

地域防災については「自助」「共助」が基本となってきますが、自分、家族を守る自助や、自主防災

組織みんなで助け合い、支え合う
共助とともに、その場その場で、
互いに近くにいる人が近くにいる
人を助け合える「互近助」の支え
合いが不可欠です。

そのための備えとして関わる人
が多いほど、より多くの安全を創
ることにつながってまいりますの
で、危機管理アドバイザーが機
会をとらえ、地域に出向いて防災に
関する話をしながら、地域ととも
に共通の理解のうえで、地域、自
主防災組織と協働して取り組んで
いきます。

また、災害時に情報等がつなが
らない、少ないといった不安につ
いても、町でアマチュア無線を整
備することで情報等のつながりが
持て、認知し合って情報の送受信
をはじめ、いざという時でも孤立
しない仕組みや体制を整えていき
ます。



「世界の人々とつながり

支持され選ばれる社会」 つなぐ

コロナ禍ではありますが、現在
では、デジタル社会が進みイン
ターネット等を介して様々な分野
と容易につながる事ができる環
境になってきていることから、本町の
文化や資源を知ってもらえる機
会が増えており、それらに魅力を感じ
る多くの方々から、観光や移住
に関する問い合わせが多くなって
います。これからも、たくさん
の魅力を発信していくために、外部
の視点で本町の魅力を認識する
とともに、梶原を応援いただく関係
人口の創出に取り組んでいきま
す。

○移住者の定住に向けた住宅確保

移住促進にあたっては、受け皿
となる住宅の確保が重要であり、
空き家を町が借り受けて必要な改
修を行い、希望者に貸し出す「空
き家活用事業」に取組み、移住希
望者の皆さんに好評をいただいで

います。

移住者の皆さんが、末永く本町
に定住するためには、持ち家を確
保していただくことが重要です。

一方、持ち家の希望はあるけ
ども、町内で確保できる物件の情
報が得られないとの意見があるこ
とから、物件の情報を収集、発信
し、円滑に売買等が進む仕組みづ
くりに取り組んでいきます。

2期目のスタートを迎えたその
矢先に太郎川公園再生事業におけ
る中核施設であるホテル・レスト
ラン・道の駅の事業費の増高によ
り、全面的な見直しが必要になり
ましたが、アフターコロナの社会
における暮らしや価値観の変化な
ど様々な視点で未来に向けてより
よい選択ができる機会をいただけ
たと感じております。この時期だ
からこそ、今一度原点に立ち返っ
て見直しを行い、町民の幸福につ
ながる、真に社会に必要なとされる
施設整備と仕組みづくりに取り組
んでまいりたいと考えています。

この町の豊かな自然環境や安心
安全な生活・社会環境のもとで、
町民の皆さんや、この町を訪れる
皆さんが心身ともに健やかである
こと、心も身体も解き放ち、本来
の自分を取り戻すことで心の底か
ら元気になれる、笑顔あふれる町、
“ウェルネスゆすはら”の実現に
向けて取り組んでいきます。



四国カルスト

椿原町の組織機構及び職員配置表

R4.4.1 現在

議 会 事 務 局
事務局長 市大 美奈

町 長 吉田 尚人
副 町 長 西村 新一

総 務 課
課 長 中越 健三

総務危機管理係 条例・規則 町有財産の管理総括 町営住宅の管理運営
交通災害共済 自主防災組織 消防 防災・災害対策
あんしん光ネット 危機管理全般 交通安全

係 長 立道 直美 上田 加恵・山本 智也・大町 祐希
(出向他)下村 千佳・堀 情二・山内 孝信
本龍 美智子・大川 明日香

税 務 係 町税の賦課徴収 国民健康保険税 税務全般

係 長 魚濱 聡海 國元 憲法・上田 希望

住 民 係 戸籍 住民登録 印鑑登録 埋火葬許可 外国人登録
国民年金 各種証明 マイナンバー

係 長 中越 絵里子 野々宮 巧朗

企 画 財 政 課
課 長 二宮 健志

企画政策係 町行政の企画調整 陳情・要望 行政改革
統計 政策企画全般 町長秘書業務

係 長 那須 千裕 立道 恋子・兵頭 眞弥

財 政 係 予算編成 町財政計画・町債 財政全般

係 長 西村 ゆかり 垣内 なつき

まちづくり推進課
課 長(兼務) 二宮 健志

まちづくり推進係 移住・定住対策事業 若者等の定住対策 集落活動センター
集落支援員 ふるさと納税

主 監 兼 係 長 高橋 里香 来米 涼介・松下 聖太
移住定住コーディネーター 片岡 幸作(委託)

保 健 福 祉 課

G M 池田 幹彦
課 長 明神 孝洋
副 課 長 上川 尚子
副 課 長 太田 寛代

健康増進係 健康づくり 疾病予防 各種健診 健康相談・保健指導

係 長 大崎 和江 松本 裕子・中越 紗耶果・中村 早苗・前田 留那(新採)

子育て世代包括支援センター 母子保健 子育て支援策の企画及び推進

所 長 兼 係 長 太田 寛代(兼) 中越 紗耶果(兼)・前田 留那(兼)
宜保 美紀(医師)・川畑 真理子(心理カウンセラー)

福 祉 係 高齢者福祉 障害者福祉 母子(父子)福祉 児童福祉
福祉医療 高齢者合宿施設 民生委員 生活保護 援護

係 長 上川 尚子(兼) 来米 真子・佃 花菜(新採)

医 療 保 険 係 国民健康保険 後期高齢者医療

係 長 中越 千晴 山本 周平・中越 紗耶果(兼)・前田 留那(兼)

介 護 保 険 係 介護保険

係 長 田尾 由紀 藤木 真弓・中越 未来

地域包括支援センター 介護保険認定調査 総合相談支援 介護予防支援計画
包括的ケアマネジメント 介護予防 在宅介護

所 長 兼 係 長 中越 沙織 池田 朋宏・兵頭 裕美(育休)・竹本 未里(育休)

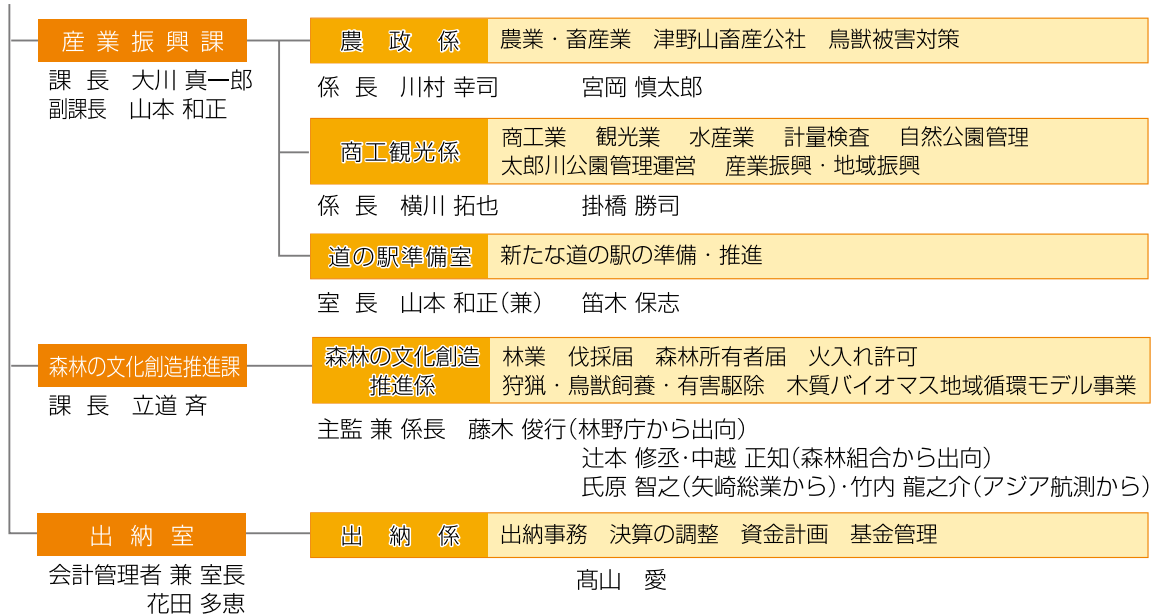
環 境 整 備 課
課 長 上田 真悟
副 課 長 兼 来米 修作
工事検査長
副 課 長 石川 智也

建 設 係 道路整備・管理 防災・災害復旧 農林業基盤整備
まちづくり基盤整備 土木・建築 登記事務

係 長 中越 裕也 岡本 浩一(登記担当)・下村 雪晃・島村 香弥・筒井 敦也

環 境 推 進 係 上・下水道 景観の保護・保全 し尿処理 廃棄物処理 狂犬病予防・死亡獣畜 昆虫駆除 墓地
環境モデル都市 風力発電等新エネルギー 資源・エネルギー全般

係 長 吉岡 まどか



栲原病院組織機構及び職員配置表

R4.4.1 現在



教育委員会等組織機構及び職員配置表

R4.4.1 現在



選挙管理委員会 — **事務局**
 局長 中越健三(兼) 立道 直美(兼)・山本 智也(兼)・大町 祐希(兼)

監査委員 — **事務局**
 局長 市大 美奈(兼)

農業委員会 — **事務局**
 局長 大川 真一郎(兼) 川村 幸司(兼)

退職者・転任者等

令和4年3月31日付けで、下記の方が退職・転任されました。

- 退職者**
- 西村 玉子 (栲原こども園 園長)
 - 神明 峰代 (臨床検査技師)
 - 井関 生恵 (看護師)
 - 金堂 良哉 (森林の文化創造推進課)

- 転任者**
- 竹内 正太郎 (高知県地産外商公社へ)
 - 東山 祐士 (仁淀川町へ)
 - 谷田 美都理 (幡多けんみん病院へ)

春の人事異動（教職員）

梶原学園

【小学校の部】

○転入

〈教諭〉

山下 幸子（精華小学校より）

井上 伊織（採用）

〈主幹〉

川上亜矢子（葉山小学校より）

○転出

〈教諭〉

柳本 静代（四万十町立七里小学校へ）

白神 拓実（佐川小学校へ）

高田多鶴子（退職）

植田 恭平（嶺北中学校へ）

【中学校の部】

○転入

〈校長〉

中越 英二（高知市立三里中学校より）

○転出

〈校長〉

氏次 悟（本山町立吉野小学校へ）

梶原高等学校

○転入

〈校長〉

足達 昇（高知国際高校より）

〈教諭〉

上岡大二郎（伊野商業高校より）

水田 智沙（中村高等学校より）

織田 恵里（小津高校より）

井上 裕一（須崎総合高等学校より）

鍋田 雄大（室戸高校より）
 溝淵 康介（安芸桜が丘高等学校）
 山本 将司（採用）
 坂本 駿人（採用）

〈主事〉

亀井 瞳（高知工業高校より）

〈技師〉

常石 裕子（再任用）

〈講師〉

小笠原理佳（梶原高校より）

中澤 楓太（春野高校より）

梶原 大輔（土佐塾中学・高校より）

高松 良旭

西岡 杏納

〈会計年度任用職員〉

白石 久代

○転出

岡田 圭司（嶺北高校へ）

〈教諭〉

細木 建男（春野高校へ）

北岡 良一（高知北高校へ）

岩崎 智久（伊野商業高校へ）

板垣 真央（山田高校へ）

山下 聖（研究生教育センターへ）

宮川 晴樹（高知国際高校へ）

恒石 諭知（室戸高校へ）

〈講師〉

宮本 雄太（佐川高校へ）

田中 康裕（丸の内高校・春野高校へ）

池 孝文（小津高校へ）

徳弘 康好（高知工業・高知北高校へ）

〈主事〉

小笠原由恵（佐川高校へ）

〈会計年度任用職員〉

松本 久恵（退職）

梶原町消防団 日本消防協会より 特別表彰「まとい」を受章

3月4日（金）、東京都のニッショーホールで、令和3年度第74回日本消防協会定例表彰式が新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、規模を縮小して開催され、森田団長・玉川副団長が出席し梶原町消防団は、特別表彰「まとい」を受章しました。

特別表彰「まとい」とは、昭和54年に創設された表彰制度で、全国に約2千200ある消防団の中から、毎年10消防団に対し、秀でた活動を展開し、活躍が顕著な消防団に対してのみ授与される最高栄誉章です。この表彰では、表彰状とともに、全長2・1m、重さ15kg、上部は純金箔、下部は純銀箔仕上げの「まとい」が授与されました。

県内においては、伊野町消防団、室戸市消防団、高知市消防団、越知町消防団、仁淀川町消防団、本山町消防団に続いて、7番目になります。

なお、まといは、役場1階のアトリウムに令和4年秋頃まで展示しています。

津野山分署



記念写真



表彰式の様子



第3分団3部（上成）に 小型動力ポンプ付積載車配備

令和3年度、第3分団3部の小型動力ポンプ付積載車両が更新されました。

更新前車両と小型動力ポンプは、平成8年に購入され25年経過していたもので、強く更新が望まれていました。

新型の車両は2021年式（寒冷地仕様）トヨタ（ハイエース）車で、乗車定員6名、四輪駆動、ディーゼルターボ2750ccエンジン、パワーステアリング、エアコン付となっています。

従来であれば、ダットサンタイプが主流でありましたが、ディーゼル車による排出ガス規制により、車両総重量の関係で従来の普通免許では運転することができず、現状では、中型免許が必要となってきます。そのため、若い団員でも運転できる



条件に満たした車両ベースとなつていきます。

今後は、こういった車両が主流となり、活動上においても、資機材の落下防止等を防ぎ、有効かつ迅速に活躍できるものと大いに期待できます。

走行性能、積載量、利便性等格段と向上した車両となっており、メーカー公表の最新型車両です。伸縮可変式LEDサーチライトやLED式周辺作業灯を左右各2個ずつ装備し、団員の夜間活動時の安全性を確保しています。

小型動力ポンプはトーハツ社製でB・2級・46kW以上（62馬力エンジン）搭載、ツイン真空ポンプ式オイルレスバキュームポンプでオイル及び冷却水循環装置を設けており、低騒音・超低排煙と環境にも配慮しています。また、高出力により旧型の約3分の1の時間での真空性能（水を吸い上げる時間）が格段に向上し

ており、火災現場活動において、放水の一分一秒を短縮するのに大いに役立つものと期待されます。

津野山分署

令和4年度 梶原消防団・ 梶原町女性消防隊入団式

4月3日（日）、ゆすはら・夢

未来館2階大ホールで、「令和4年度梶原消防団・梶原町女性消防隊入団式」が吉田町長をはじめ、市川町議会議長、下元総務教育厚生委員長を迎え厳粛に行われました。

新入団員は入団式を前に、津野山分署署員から消防団員としての基本的な礼式訓練の指導を受けた後、機敏な動作で式に臨みました。

本年度は、団幹部5名の異動があり、新入団員に先立ち、辞令交付を受け、決意新たに申告を行い、新たに入団した7名に辞令が交付され、地域の力となるように梶原消防団総勢250名の一員としての一歩を踏み出しました。

森田団長の訓示の後、吉田町長から地域の安全確保へ尽力していることに対する感謝等の祝辞があり、市川町議会議長より、地域住民の

安心安全な災害のない町づくりの担い手としての期待と激励の言葉をいただきました。

令和4年度異動団幹部（5名）

本 部	副団長	山本 浩辰
第3分団	分団長	西村 信明
第5分団	分団長	沖田 謙三
第3分団	副分団長	中越 靖
第5分団	副分団長	西森 誠

令和4年度入団者（7名）

本 部	団 員	梅原孝二郎
第1分団	団 員	糸井 将悟
第1分団	団 員	野村 健太
第1分団	団 員	来米 涼介
第1分団	団 員	筒井 敦也
第3分団	団 員	山本 周平
第3分団	団 員	西村 勇人

津野山分署



氏原哲哉氏 生涯スポーツ 推進県民会議顕彰受彰

3月17日(木)、令和3年度生涯スポーツ推進県民会議顕彰表彰式にて氏原哲哉氏(下西の川)が表彰され、過日、町長室において、吉田町長より表彰状が手渡されました。

この顕彰は、生涯スポーツ推進のため、地域や職域等で、体育・スポーツ・レクリエーションについて広く県民の意識を啓発し、また、日常生活の中で継続して実践するなど、明るく活力に満ちた地域社会の発展に貢献した個人や団体を表彰するものです。

氏原哲哉氏は、平成18年より梶原町スポーツ少年団「ファイターズJSC」の監督に就任された後、より専門的な知識を生かすため、公認ソフトボール指導員を取得し、熱意をもって、小学生へソフトボールの指導に取り組んで来られました。高知県内の大会で優秀な成績をおさめ、平成30年度に第12回春季全日本小学生男子ソフトボール大会に出場されました。また、令和3年度には、第35回全日本小学生男子ソフトボール大会の出場権を獲得しました。

また、同チームは、総合型地域スポーツクラブ「梶原雲の上スポーツクラブ」に所属しており、クラブの立ち上げ当初から運営委員として携わられ、公認アシスタントマネージャーを取得し、運営をサポートされています。

平成28年度より梶原町スポーツ推進委員としても活躍され、町内のスポーツ推進にご尽力いただいています。

今後も、ファイターズJSCの監督として、また、梶原町スポーツ推進委員として、梶原町の生涯スポーツの推進にお力を貸していただきたいと思えます。

生涯学習課



津野山舞台 (宮野々) 葺替え

令和4年3月、県保護有形民俗文化財「津野山舞台(宮野々)」(梶原町宮野々89番地1)の茅葺き屋根の葺替えが行われました。

藩政期に「津野山郷」と称した梶原町及び津野町(旧東津野村)には、かつて多くの歌舞伎舞台がありましたが、今では3つが残るのみで、それらを総称して「津野山舞台」として県から文化財指定されています。

宮野々の舞台は、大正末期に三嶋神社(梶原町竹の藪)に合祀された白王神社の境内跡にあり、一棟建ての鍋蓋式廻り舞台です。

劣化が進んでいた茅葺き屋根がきれいに生まれ変わりましたので、皆様ぜひお立ち寄りください。

生涯学習課



改修後の津野山舞台 (宮野々)

梶原町教育委員 西岡教育委員の後任に 吉富 文氏を選任

12月議会において、3月4日をもって任期満了となる西岡利晃教育委員の後任として、梶原町太郎川の吉富文氏の選任案件が上程され、満場一致で可決されました。

任期は3月5日から4年間です。また、勇退される西岡利晃氏は平成30年3月から1期4年間にわたり教育委員を務めてこられました。今日までの長年のご尽力に深く感謝申し上げます。

【吉富文氏の略歴】

国立お茶の水女子大学卒。大学卒業後、朝日新聞社に6年間勤務。退職後は鍼灸師免許取得。平成29年より梶原へ移住。現在は人権擁護委員、梶原町社会福祉協議会理事、梶原町広報委員等、幅広い分野でご活躍されています。



選任された吉富文さん

教育委員会

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会 ごみについて考えよう！（梶原学園4年生出前授業）

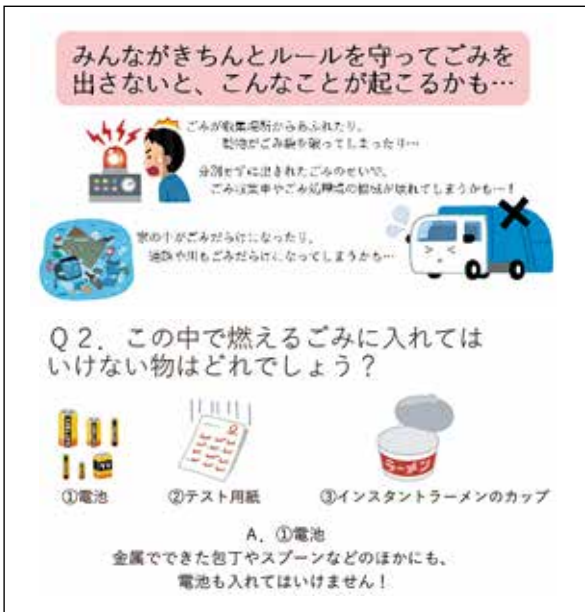
梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会では、日ごろから可燃ごみへの金属等の混入防止やごみの分別収集の推進に取り組んでいます。

その活動の中で、以前にも梶原学園の朝礼でごみの分別についてお話をさせていただきましたが、今回は4年生の授業にお伺いして、梶原町のごみ処理の仕組みや分別するときの注意点について説

明を行いました。

その中でも、以前から取り組んでいる可燃ごみへの金属の混入防止の話では、可燃ごみに金属が入ってしまうとごみ収集車や処理場の機械が壊れ、修理に時間もお金もかかってしまうことなどを伝えると、子どもたちからは驚きの声が上がっていました。

また、分別収集を開始したペットボトルについては、収集所に出



授業で使ったスライド（一部）。クイズも出題

すときに洗ってラベルとキャップを外すことや、いろいろな物にリサイクルされることなどを紹介し、きちんとリサイクルするためにも、一人ひとりが気を付けることが大事だということをお伝えしました。授業を終えた子どもたちからは、「梶原町のごみをどうやっ



実際のごみ袋やペットボトルを使って説明

て処理しているのか分かった」、「リサイクルでいろいろな物に生まれ変わっていることを知って驚いた」との感想が聞かれました。ごみの分別やリサイクルは、子どもから大人まで日ごろの生活の中で取り組むことが大切です。普段何気なく捨てているごみが、どのように処理されて、どのように活用されているか、皆さんも一緒に考えてみませんか？

環境整備課

企業版ふるさと納税 四国情報管理センター(株)様から ご寄附をいただきました



企業版ふるさと納税制度により、四国情報管理センター株式会社から寄附をいただき、令和4年3月17日に、梶原町役場において目録並びに感謝状贈呈式を行いました。心からお礼申し上げます。

四国情報管理センター株式会社
寄附日 令和4年3月4日
寄附取組 梶原令和の森林づくり事業



記念撮影

四国情報管理センター株式会社は、システム開発、ネットワーク構築など、インターネット関連

の企業です。

中城一(なかじょうはじめ)代表取締役社長は、「来年、創立50周年を迎えるにあたり、これまでお世話になった梶原町と、これからも共に歩める関係を築いていきたいと考え、梶原町への寄附をすることとなった。寄附を有効に活用していただきたい」と述べられました。

企業版ふるさと納税とは、自治体を取り組む地方創生事業に、企業が寄附をとおして応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。梶原町では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける事業へ貢献していただける企業の皆様をお待ちしております。

【問合せ先】

まちづくり推進課

☎65-1111

令和3年度 生活援助従事者研修を開催

本町では、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護人材の育成及び永続的な人材確保を図ることを目的に、平成23年度より「ホームヘルパー養成事業」を実施しております。

令和3年度は「生活援助従事者研修」を梶原町社会福祉協議会に実施いただき、令和4年2月1日から約1ヶ月の日程で、高校生を含む3名が受講しました。

「生活援助従事者研修」は生活援助に特化し、洗濯や掃除、調理などの援助をする人材を育成する研修となっています。身



車いすを用いての実習



講義内容に熱心に耳を傾けます



町内の施設を訪問して



受講生の皆さん

体介護の部分は学ぶことができませんが、生活援助について、短期間で研修を受講することができ

ます。講師の方々には、専門的なお話の中にも自身の経験を織り交ぜながら、分かりやすく丁寧な講義を行っていただき、受講生も真剣な表情で受講していました。

人数は少ないながらも、それぞれが目的を持ち熱心に受講いただき、受講生全員が全日程を修了しました。

受講生からは、「研修の内容をかみ砕くように分かりやすく説明いただいた」「研修で初めて聞いた言葉もあって大変だったが、学べてうれしかった。もつと上の資格も目指していきたい」「研修を受けてき

らに介護についての関心がわいた」といった声をいただきました。

ホームヘルパー養成事業では、今後身体介護もできる「介護職員初任者研修」についても実施していく予定です。対象者は、梶原町、津野町に住所を有し、介護の仕事に興味のある方で、少しでも受講しやすき環境となるよう町が支援しています。

今後も本事業を継続していくことで、1人でも多くの方に興味を持っていただき、介護人材の育成と人材確保に向けて取り組んでいけたらと考えておりますのでよろしくお願ひ致します。

【問合せ先】

保健福祉課 介護保険係

☎65-11170

梶原学園だより

小学校体験入学

3月2日(水)、こども園どう組さんが来校し、梶原学園1日体験入学を行いました。最初に、5年生が園児一人ひとりと手をつないで、小学校棟や体育館などを案内しました。授業風景を神妙な面持ちで見たり、壁に貼ってある掲示物の絵に興味を持ったり、足元の窓から外を覗いて風景を楽しんだりしていました。次は1年生との交流です。園児らは教室で1年生と交代して席に着き、先生の話を聞きました。間もなく始まる小学校での授業を想像し、心はもう「ピカピカの1年生」だったのではな

小学校体験入学



梶原中学校卒業式



梶原小学校卒業式



梶原中学校卒業式

3月11日(金)、第41回梶原中学校卒業式が行われました。この日は、東日本大震災が発生して11年目であり、式に先立って、参加者全員で黙祷を行いました。証書授与、学校長式辞、教育委員会告示、

来賓祝辞と続きました。矢野教育長は野球の大谷選手、スノーボードの平野選手を引用し、やり遂げる力について、吉田町長は、世界の現状にふれ、平和のために何ができるかをそれぞれ伝え、卒業する生徒たちに、考えて行動することが必要だと語ってくれました。在校生送辞は大利美歌さんが、卒業生答辞は川上奏汰さんが行いました。式歌斉唱では、目頭を押さえる生徒の姿が見られました。退場の曲はNHK「18祭」で歌われた「正解」。一人ひとりがゆっくりと退場し、中には泣きながら担任とハグをする生徒もいました。

この2日後、卒業生24名全員の進学が決まりました。梶原学園で培った事を活かし、立派な高校生、そして梶原人へと成長してくれることでしょう。

梶原小学校卒業式

3月22日(火)、梶原小学校卒業式が学園多目的ホールで行われました。卒業生と保護者が向き合う配置の中、学校長から卒業生一人ひとりが緊張した面持ちで卒業証書を受け取りました。誓いの言葉では、卒業生全員がかわるがわるに6年間の思い出や、保護者への感謝の言葉などを発表しました。感謝の言葉などを発表しました。保護者の中には、ハンカチを手にし、目頭をおさえる姿も見られました。「卒業生退場」のアナウンスの後、ホールの扉が開き、在校生全員が並んで作った花道を、卒業生一人ひとりが笑顔で歩いていきました。

4月からは7年生。校舎は同じですが、学校生活は変わります。思春期のど真ん中がスタートします。



<http://www.yusuharagakuen.jp/>
一部の記事はホームページでも見ることができます。



栲原こども園だより



卒園式

令和4年3月24日(木)、5歳児24名が、楽しい思い出がいっぱい詰まったこども園を卒園しました。



卒園式は、栲原体育館で行いました。小学校でも元気に友達と仲良く遊んだり、頑張ってくださいね。



「おめでとう～！」
「ありがとう」

新しい 木材遊具が完成

栲原町の木材を使用した木製遊具が園庭に完成しました。みんなで楽しく、大切に遊びます。



一部の記事はホームページでも見ることができます。

<http://www.yusuharakodomo.jp/>





雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL

高知県初！
四国で2館目

第37回日本図書館協会建築賞を受賞しました

優れた図書館建築と、それに相応しい図書館サービスが認められました

前身となる日本文庫協会から数えると、130年の歴史を持つ日本図書館協会。日本の図書館の成長・発展を担い、会員には夏目漱石も在籍したそうです。その協会が毎年主催する図書館建築賞を、今年は雲の上の図書館が受賞しました。設計事務所および図書館への聞き取りや審査員による現地視察など、数回に渡る厳正な審査の結果、図書館運営において以下の点を評価されました。



デイサービスで出し物を行ったり
集会所へ定期的に本を届けています

自主企画はもとより、他の部署や機関と連携し、
生涯学習、社会福祉、観光促進に資するイベント
を開催しています

- ・各集落への広域サービス
- ・意欲的なサービスを展開し続けている
- ・馴染みやすく魅力ある空間を創りあげている

手に取りたくなる本の配置や、心のバリア
フリーに繋がる気配りをしています

より一層サービスの向上に努めます！



建築に対する評価点

- ・多世代が集いやすい場である
- ・イベントを行いやすい場である
- ・光の環境に合わせて書架をまとめている

本で旅する、じぶん時間

『にっぽん全国おみやげおやつ』

著:甲斐みのり

全国各地のおやつを長年研究してきた著者が、47都道府県のおすすめおやつ140品目以上を一挙紹介。かわいいパッケージ集や、絵本のようなお菓子など、彩り豊かで心ときめくコーナーもたっぷり収録。



ヒトとモノの文化史

『世界を変えた100のポスター』

著:コリン・ソルター

酒、タバコ、清涼飲料水、サーカス、政府広報、そして指名手配書まで。その時代を象徴し、人々を動かしてきた優れたポスターたち。そのデザインの裏に隠された思想やテクニックを紐解く、傑作ポスターコレクション。



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

5月の休館日

6、10、17、24、27、31

ご協力お願い致します。

- ・マスクの着用（2才～）
- ・手指の消毒
- ・滞在時間は短めに

対策実施中



令和4年度 国民健康保険税率が変わります



国民健康保険は、病気やケガをしたときに安心して医療が受けられるように、加入者が保険税を出し合い、お互いに助け合う制度です。我が国の国民皆保険を支える医療保険であり、将来にわたり安定的に運営していく必要があります。

■保険税率の統一について

高知県では、人口減少や少子高齢化により、今後さらに市町村の国民健康保険が小規模化していくことや、加入者一人当たりの保険給付費が年々増加すると予測されています。それらを踏まえ、国民健康保険の持続可能性の確保のため、経過措置期間を設けながら、令和12年度の統一を目指し、高知県内のどこに住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ国保税になるよう、税率の統一に向けて議論が行われています。

将来、保険税率が統一された場合、町内の被保険者数がさらに減少した場合でも、県内市町村相互で支え合う仕組みとなることから、保険税の急激な増加とならないとされています。

■保険税率の変更

これまで本町では加入する皆さんの保険税の負担が大きくならないように、国民健康保険財政調整基金を取り崩しながら対応してきましたが、加入者が減少する中で、1人当たりの医療費は増加傾向にあります。そのような状況の中において、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み保険税率を据え置きましたが、厳しい財政状況の中、今後、被保険者の負担が急激に増加することのないよう、段階的な改定が必要となっており、保険税率の一部改定を行うこととなりました。

加入者の皆さんにはご負担をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

■軽減措置・賦課限度額の改正について

令和4年度に厚生労働省関係の税制改正が行われ、国民健康保険税の医療保険分と後期高齢者支援金分について課税限度額の引き上げが行われています。

新たな軽減措置として、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、被保険者に未就学児がいる世

区 分		改正前	改正後
		令和3年度	令和4年度
医療保険分 (国保に加入するすべての方)	所得割	8.3%	8.4%
	均等割(人数)	25,100円	26,700円
	平等割(世帯)	17,000円	18,000円
	課税限度額	63万円	65万円
後期高齢者 支援金分 (国保に加入するすべての方)	所得割	2.8%	2.8%
	均等割(人数)	8,400円	8,700円
	平等割(世帯)	5,700円	5,900円
	課税限度額	19万円	20万円
介護保険分 (国保に加入する40歳以上65歳未満の方)	所得割	1.7%	1.9%
	均等割(人数)	7,000円	7,800円
	平等割(世帯)	3,400円	3,800円
	課税限度額	17万円	17万円

帯について、未就学児に係る均等割額についてその5割が軽減されます(従来は軽減対象であっても、残りの負担分から5割が軽減されます)。また、これまでどおり、所得が一定額以下の世帯には、国民健康保険税の負担の軽減を図るため均等割額、平等割額の軽減があります。※所得申告をされていない場合は、軽減の対象となりません。

【問合せ先】

国保資格について
保健福祉課 医療保険係

☎ 65・1170

国保税について

総務課 税務係 ☎ 65・1111

つくってみよう マイナンバーカード



マイナンバーカードが健康保険証としても利用できるようになりました。

現在の健康保険証は引き続きご利用いただけます。

※医療機関・薬局によって利用できる開始時期が異なりますのでご注意ください。

梶原の未来を一緒に考えてみませんか？
若者定住対策審議会第12期メンバー募集！

梶原町若者定住対策審議会は、若者が梶原に住み続けたいと思える環境づくりや移住者が住んでみたいと思う環境づくりを目指し、現在、梶原町が実施している取り組みに対してご意見やご提言をいただく審議会です。

委員は農林業等の地域文化を継承する方やU・イターンされた方、学識経験者、町の職員で構成され、年10回ほどの会議を行います。

ぜひ、委員にご応募いただき、こういう取り組みがあればもっと暮らしやすくなる等、皆様の率直なご意見やご提言をお願いします。

【募集内容】

- ・募集人数 6名
- ・募集対象 18歳以上40歳未満の方
- ・任期 2年（令和4年6月から令和6年3月31日まで）
- ・応募方法 梶原町まちづくり推進課までお問い合わせください
☎65-1170
- ・応募期間 令和4年4月25日から令和4年5月13日まで
- ・選考方法 応募人数多数の場合は、構成委員や男女の人数等を加味し、選考させていただきます。あらかじめご了承ください。

まちづくり推進課

5月の行事予定

- 7日(土) 梶原高校PTA総会
- 8日(日) 梶原学園9年生修学旅行(11日まで)
- 9日(月) 梶原学園8年生職業体験(12日まで)
- 11日(水) 第24回梶原町雲の上杯ゲートボール大会
- 14日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デー
- 18日(水) 行政相談
- 梶原学園6年生修学旅行(23日まで)
- 20日(金) 梶原町交通安全の日
- 21日(土) 高知県立高等学校体育大会(23日まで)

5月の保健福祉課行事予定

- 6日(金) 初瀬いきいき
- 9日(月) げらげら家族会
- 11日(水) 松原サテライト
- 12日(木) 東区宅老
越知面デイ
四万川宅老
- 18日(水) あゆみの会
- 19日(木) 四万川宅老
- 20日(金) 東区いきいき
- 24日(火) 小児健診(終日)
- 26日(木) 四万川いきいき
- 31日(火) 小児健診(半日)

- 毎週月曜日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。
 - 毎週水曜日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
 - 月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)
 - ゆすっこ相談センター相談日 10日(火)半日、17日(火)半日、31日(火)半日
 - 川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 23日(月)、24日(火)
- ※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

不正けしの特徴

花びらは一重のものや、八重のものなど様々ある赤、薄紫、白、桃などの色がある葉は互い違いに茎につき、茎を抱き込むような形葉や茎にほとんど毛がない



こんなけしを見つけたら福祉保健所まで連絡を！

けしの仲間には、通常4月から6月にかけて美しい大きな花を咲かせますが、その一部には、法律で栽培が禁止されているものがあり、誤って庭先などに植えられていることがあります。

自生しているところを見かけたり、お心当たりのある方は、勝手に抜かず、須崎福祉保健所までご連絡をお願いいたします。

連絡先 須崎福祉保健所 衛生環境課 ☎0889-42-2004

雲の上のいきいきチケットについて

令和 4 年度 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月



タクシーを利用する際に初乗運賃分を助成するチケットです



満 75 歳以上の方で自動車運転免許証を持っていない方。その他、下記の方が対象となります

対象者について

梶原町に住所があり、自動車運転免許証を持っていない、下記のいずれかに該当する方が対象となります。

- 満 75 歳以上の方
- 身体障害者手帳 1 級、2 級、3 級の方
- 療育手帳もしくは精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
※免許を持っていても、今後運転しないことを誓約した書類を提出することにより、対象となります。

チケットの交付を受けるには、申請が必要です。

※申請書をすでに提出いただいた方には、3 月半ばに新しいチケットを郵送しています。

詳しくは、保健福祉課福祉係 お問い合わせください。

☎ 65-1170

文芸

杉の子俳句会

- 牛飼いを卒業とする彼岸かな 西村 蓉子
- 鯛焼の出店に並ぶ余寒かな 下元 廣幸
- 父上のポマード塗りて卒業す 今城 真人
- 高山に枺の苗木を植ゑにけり 久岡 智子
- 初音かなカーテンすかし一人聞く 大崎みなと
- 一斉に起立を促す卒業歌 掛橋 初子
- お雛様飾る老女の眼は少女 明神伊佐子
- 卒業生スマホに残す晴れ姿 西村 幸枝
- 卒業し孫とカンパイノンアル酒 影浦 鉄心
- そよ風に 笑顔見せたる梅の花 野中 胤雄
- 心地良き日射しのありて牡丹の芽 内野 純子

美容室コップにさした露のとう 氏原 陽子

どの国もデモのうねりや猫柳 川田 早苗

柚子の木俳句会

「五千歩超えたステキ」とケイタイ梅日和 西村由利子

いぬふぐり地上五寸の深呼吸 西森 誠子

野桜が合図をし合う谷間かな 中平 忠雄

住み人の無き集落に花の兄 中越 郁子

追伸に核心さらり落椿 渡辺 瑞枝

木漏れ日の道で椎茸菌を打つ 中越 秋子

堆肥まく秋の実りを願いつつ 吉田 敬子

黒スーツ四十雀のごと入社式 広瀬 卓雄

狂歌

カップルがお手てつないでデートする 空いたお手持でスマホをいじり 河野 哲夫

リズムよい梶原音頭が聞こえない この歌の 深い意味は 何なのか 二宮 近雄

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【広報へのご寄付】

安田 文明 様(佐川町)
中越 哲男 様(大阪府)

【ふるさとづくり寄付金】

中宇称 裕也 様(埼玉県)
他匿名希望の方 20名

【その他のご寄付】

山口 正春 様(東京都)
故・山口 福男氏逝去に伴う香典返し(学校教育へ)

●おめでた

住 所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者
飯 母	下元 福来	男	R4.3.8	下元 慶太

●おくやみ

住 所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
仲 間	武田美代子	女	R4.3. 1	88	本 人
川西路	西村 益恵	女	R4.3.2	86	西村 功
大蔵谷	中川 留	女	R4.3.13	100	本 人
大野地	木原 和明	男	R4.3.21	68	本 人
久保谷	久岡 勝男	男	R4.3.21	99	本 人

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています



越知面遊友館 五右衛門風呂完成



入浴施設



五右衛門風呂（室内）

【問合せ先】
 越知面遊友館（特定非営利活動法人おちめん）
 ☎68 - 0888
 【メール】 ochimen-yuyukan@mm.pikara.ne.jp

越知面遊友館（特定非営利活動法人おちめん）は、宿泊施設として平成30年6月にオープンし、学生の合宿や一般客の宿泊施設として、年間約2,000人が利用しています。

近年は、四季を通して一般客の利用が多くなり、入浴を希望する宿泊者が多いため、五右衛門風呂を設置することとしました。

五右衛門風呂は、令和4年2月22日（火）に完成し

ました。コロナ感染症拡大防止を配慮して落成行事は行わず神職によるお祓いのみとしました。

この五右衛門風呂は、宿泊する人が自分で薪をくべて沸かす体験型入浴施設です。日常的には、給湯器でお湯を沸かして利用することが多いと思います。遊友館に宿泊された方は、ご自身でお湯を沸かし、薪で沸かした柔らかかなお湯の感触を是非味わっていただきたい

いものです。

風呂は、室内と露天の2種類あります。星を見ながら思いを馳せる方については、露天風呂をおすすめします。

五右衛門風呂のご利用は、1日2組限定とさせていただきますので、宿泊の申込時にご予約下さい。ご利用料金は、宿泊代と別にいただきますのでお問い合わせ下さい。

編集後記

令和2年の年明け早々から始まった新型コロナウイルスの感染症は、令和3年暮れ頃よりオミクロン株による第6波が猛威を振るい、高知県においても蔓延防止等重点措置の適用を3月6日の解除まで受けることとなりました。3回目の予防接種や薬の開発等で感染者数が高い中でも、重症化率が下がっているため以前ほどは怖がらなくなっているように思いますが、まだまだ全国で収束する気配はありません。

昨年未より17万ともいわれるロシア軍がウクライナ国境に集結し、軍事攻撃が懸念されていたところ、令和4年2月24日、ロシア軍がウクライナに対して軍事侵攻を始め、ウクライナの主要都市は破壊されるなかウクライナも懸命の反撃を行っています。西側諸国によるロシアへの経済制裁とウクライナへの武器、医療品等の支援を行うものの、400万人ともいわれる避難民がポーランド等へ押し寄せ、テレビでは連日大学教授による解説や特派員による戦況報告が報じられ、世界中が大混乱となっています。

北朝鮮では、今年に入って続けざまにミサイルの発射実験を繰り返して、3月24日には北海道の渡島半島の西約150キロの排他的経済水域内にICBMを落下させました。今回は最高高度、飛行時間も過去最大だということです。ヨーロッパでの戦争をしり目にここぞとばかりにエスカレートさせる隣国の行動には大変憂慮させられます。

中国では台湾の武力統一を図ろうとする動きがあり、すぐ近くにある尖閣諸島の領有権争いと関係して、日本も武力衝突に巻き込まれる可能性がありますがあるともいわれています。

国内では3月16日の夜に3・11東日本大震災を思わせる震度6強の福島県沖地震が発生し、東北新幹線が脱線しました。戦争のことがなければこれももっと大きな事件になっていたはず

です。

今年もいつもどおり桜の花は満開で大変気持ちのいい季節を迎え、今月は佐渡鷹取トンネルの開通と言うことで構原町にとって喜ばしい出来事がありました。外に目を向けると今の時代が大変厳しい時代であって、いかに平和で平凡な生活が大切かを感じ知らされるこの頃です。

〈広報編集委員会〉